

☆「おたっしや訪問事業」を実施しています。

7月より、75歳以上のひとり暮らしの方に「おたっしや訪問」を実施しています。地域包括支援センターでお願いしている看護師や保健師が訪問し、救急医療情報キットを配布するとともに健康や生活について相談を受け支援します。該当する方には直接通知します。

★「救急医療情報キット」とは、「かかりつけ医」「保険証番号」「病名」等の医療情報の記入用紙を入れ、冷蔵庫に保管できる筒状の入れ物です。緊急時に救急隊員等が駆け付けた際に探す手間が省け、迅速な救命活動ができるようになります。

白鷹町徘徊高齢者支援事業

☆「おでかけ見守り事前登録」を利用してください。

この事業は、認知症高齢者の方が、徘徊などで家に戻れなくなったり、行方不明になったとき、早期に発見できるように、高齢者の方の情報を事前に長井警察署に登録し、高齢者ご本人の安全とご家族への支援を図ることを目的として実施します。

●利用できる方

認知症等により徘徊や行方不明になるおそれのある在宅で生活する高齢者とそのご家族の方

●利用の手続き

- ①登録を希望される方は、白鷹町地域包括支援センターもしくは担当ケアマネジャーにご連絡ください。
- ②地域包括支援センター職員がご自宅にうかがい、手続きについてご案内いたします。登録された情報は事前に長井警察署に提供します。行方がわからなくなったときは、その情報をもとに警察署で捜索を開始します。

●行方が分からなくなったとき

長井警察署に、ためらわず行方不明者の届出の連絡をしましょう。

●無事が確認できたとき

高齢者ご本人が自力で帰宅したり、ご家族や関係者が発見した場合は、すみやかに長井警察署に連絡してください。

もし徘徊で認知症高齢者が行方不明になった場合、認知症高齢者の方の情報、写真などを急に準備することは大変手間がかかります。今は大丈夫、と思っても、いつ徘徊が始まるか誰にもわかりません。少しでも心配だと感じたら迷わず地域包括支援センターにご相談ください。なお、近所の方へ認知症高齢者がいることを知らせておくことも非常に重要です。困ったときはお互い様です。誰もが安心して生活できる白鷹町をつくりましょう。



■問い合わせ

白鷹町健康福祉課 地域包括支援センター
☎0238-86-0112